

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成22年度
事業者名	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設共同運営事業体 <構成団体> ・財団法人川崎市生涯学習財団 ・特定非営利活動法人有馬まちづくり サポートセンターカンアオイ	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成22年度 利用実績 ()内は21年度						地域図書室 H22年度 71,952冊 H21年度 56,647冊 市図書受け渡し H22年度 54,470冊 H21年度 36,668冊																																		
		集会室	和室等教養室	学習室	グループ室	フリースペース・ギャラリー																																			
	利用人数(人)	19,073	1,818	15,034	3,962	4,032																																			
	利用件数(件)	674	821	1,026	421	269																																			
	利用率(%)	65.1% (48.3%)	26.5% (20.5%)	33.6% (22.2%)	20.6% (18.3%)	26.3% (6.2%)																																			
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>指定管理予算額①</th> <th>指定管理決算額②</th> <th>増減額①-②</th> <th>10%以上増減の場合の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 収入の部</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 指定管理委託費</td> <td>47,269,000</td> <td>47,269,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 利用料金収入</td> <td>2,460,000</td> <td>3,343,420</td> <td>(883,420)</td> <td>稼働率が見込みを上回ったため。</td> </tr> <tr> <td>3 授業料等収入</td> <td>1,372,000</td> <td>1,860,000</td> <td>(488,000)</td> <td>講座を多く実施したため。</td> </tr> <tr> <td>4 雑収入</td> <td>143,000</td> <td>466,817</td> <td>(323,817)</td> <td>印刷代などが見込みを上回ったため。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51,244,000</td> <td>52,939,237</td> <td>(1,695,237)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					科目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	10%以上増減の場合の説明	I 収入の部			0		1 指定管理委託費	47,269,000	47,269,000			2 利用料金収入	2,460,000	3,343,420	(883,420)	稼働率が見込みを上回ったため。	3 授業料等収入	1,372,000	1,860,000	(488,000)	講座を多く実施したため。	4 雑収入	143,000	466,817	(323,817)	印刷代などが見込みを上回ったため。	合計	51,244,000	52,939,237	(1,695,237)		
	科目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	10%以上増減の場合の説明																																				
I 収入の部			0																																						
1 指定管理委託費	47,269,000	47,269,000																																							
2 利用料金収入	2,460,000	3,343,420	(883,420)	稼働率が見込みを上回ったため。																																					
3 授業料等収入	1,372,000	1,860,000	(488,000)	講座を多く実施したため。																																					
4 雑収入	143,000	466,817	(323,817)	印刷代などが見込みを上回ったため。																																					
合計	51,244,000	52,939,237	(1,695,237)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>指定管理予算額①</th> <th>指定管理決算額②</th> <th>増減額①-②</th> <th>決算の主な内訳()内は予算 単位 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II 支出の部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>人件費 26,199,057 (26,261,000) 賃金 2,145,270 (2,146,000) 諸謝金 2,026,000 (2,026,000) 消耗品 4,254,652 (4,387,000) 光熱水費 3,516,434 (3,507,000) 修繕費 1,765,420 (1,766,000) 租税公課 1,146,148 (1,053,000)</td> </tr> <tr> <td>1 管理運営費</td> <td>49,800,000</td> <td>49,738,645</td> <td>61,355</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 本部管理費</td> <td>1,247,000</td> <td>1,246,619</td> <td>381</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>51,047,000</td> <td>50,985,264</td> <td>61,736</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					科目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	決算の主な内訳()内は予算 単位 円	II 支出の部				人件費 26,199,057 (26,261,000) 賃金 2,145,270 (2,146,000) 諸謝金 2,026,000 (2,026,000) 消耗品 4,254,652 (4,387,000) 光熱水費 3,516,434 (3,507,000) 修繕費 1,765,420 (1,766,000) 租税公課 1,146,148 (1,053,000)	1 管理運営費	49,800,000	49,738,645	61,355		2 本部管理費	1,247,000	1,246,619	381		支出合計	51,047,000	50,985,264	61,736		収支差額:1,953,973 円										
科目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	決算の主な内訳()内は予算 単位 円																																					
II 支出の部				人件費 26,199,057 (26,261,000) 賃金 2,145,270 (2,146,000) 諸謝金 2,026,000 (2,026,000) 消耗品 4,254,652 (4,387,000) 光熱水費 3,516,434 (3,507,000) 修繕費 1,765,420 (1,766,000) 租税公課 1,146,148 (1,053,000)																																					
1 管理運営費	49,800,000	49,738,645	61,355																																						
2 本部管理費	1,247,000	1,246,619	381																																						
支出合計	51,047,000	50,985,264	61,736																																						
サービス向上の取組	危険箇所の改修等の安全対策、図書室の利用環境整備に尽力しており、目に見える形でサービスの向上に努めている。																																								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取組が行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 事業実施後に参加者へのアンケートを実施し、成果や課題の分析を行い、今後の事業を企画する上での判断材料としている。特に、満足度調査においては質問項目ごとに、「大切さ」と「満足度」を訊ねることにより、詳細な分析がなされている。利用促進等については、施設の広報紙に地域情報を掲載することや、町会・自治会等の回覧板を活用した広報を行うなど、きめ細かな広報がなされている。また、各種学級・講座終了者のグループ化を促し、施設利用者数の増加に繋げている。また、図書室の環境整備を行うことで、図書室の利用を促進することができた。生涯学習支援については、料理室・和室等の教養室の利用促進を見据えた戦略的な事業展開が望まれる。				
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 施設の維持管理については、特に安全面に配慮しホール吹き抜け部分の改修や防犯カメラの設置など迅速で適切な対応を図っている。個人情報保護等については、仕様書に基づき適切な対応を図っている。人員配置等については、適正な人員配置を行っており、事故等の問題を生じていない。人材育成については、OJTに重点をおいて実施している。危機管理については、防災設備の月例点検を実施し、適正な管理を行った。特に、東日本大震災の発生時には、適切な初動体制がとられ、利用者の安全な非難誘導を実施したことは評価できる。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 施設利用については、利用率の向上が見られるものの、他館と比較してなお利用の増加が見込まれることから、利用の促進に向けて一層の工夫が求められる。生涯学習の支援に係わる事業については、内容の充実を図り、主催事業については前年度比で30%以上参加者を増加することができた。自主事業については、幅広い年代に興味の持てるクラシックコンサートを開催するなど、地域の方々の交流を促進し、併せて地域で活動する人材の活用を図ることができた。本事業は低廉な料金で質の高い音楽を鑑賞できることから大変な好評を博している。地域との連携については、「福祉ネット」を立ち上げるなど相談事業の充実を図っている。また、市民活動の促進については、23年度に向けて市民の自主企画事業である「アリーノ・フロンティア事業」を企画することができた。広報活動については、手作りながらカラー印刷で見やすく内容の濃い紙面づくりが行われている。生涯学習の支援等については、和室等教養室の利用の促進に向けた事業内容の工夫が必要である。				
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 予算額に基づいて適正に予算執行がされており、予算額に対する執行率は99%と極めて高く効率的・効果的に執行されている。また建物の補修等の環境整備については自主事業として前年度繰越金を活用するなど、収支差額についても有効に支出されている。				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

開館2年目であるが、施設的环境整備、学習グループの立ち上げなどにより、施設の利用率・利用者が飛躍的に拡充したことは評価できる。また、23年度に向けても、市民の自主企画事業など新たな取組みを始めるなど積極的な事業展開を行っている。きめ細かなアンケート調査を実施しており、満足度も高いが、今後は、益々多様化するニーズへの対応の仕方についても検討が必要である。施設環境の整備については安全面を中心に3百万円を超える修繕を行っており、予算の効果的な運用がなされている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

平成23年度は、当該事業者による指定管理の最終年度となる。平成21年度に新規に開設した施設であり、施設を使用して初めて明らかになった課題も多かった。これらの課題については、順次解決が図られている。一方、施設運営に係る利用者のニーズは益々多様化しており、新たな課題も生じている。引き続き、利用者連絡会、地域市民等との協働・連携を推進し、地域と一体となった対応が望まれる。生涯学習支援事業の運営については、より広範な学習課題に対応した事業展開が求められるが、そのためには、学級のコーディネート等の専門性の高いスキルが求められることから、引きつづき必要な研修を実施し、職員の資質の向上に努める必要がある。地域図書室については貸し出し冊数等も増加しているが、収納スペースに限りがあることから、特色ある運営が図られるよう計画的な整備が必要である。